

孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

【分科会 1（第 6 回）】 議事次第

令和 8 年 2 月 2 5 日（水）

1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 0 0

（オンライン開催）

○「声を上げやすい・声をかけやすい社会」に向けた取組の在り方

1 開会

2 議題

（1）経過説明（報告事項）

- ・つながりサポーターに係る取組について
- ・広報について（令和 8 年度孤独・孤立対策強化月間等）

（2）意見交換

（3）その他

3 閉会

分科会 1 (第 6 回) プログラム

■日 時 令和 7 年 2 月 25 日 (水) 13 : 00～14 : 00

■開催方法 Microsoft Teams ズームを活用したオンラインミーティング

■プログラム

時間	項目	担当 (進行)	資料
13:00～	プログラムおよび資料の説明	内閣府	有 (議事次第)
13:02～ (23 分)	経過説明	内閣府	有
13:25～ (30 分)	意見交換	大西参与 /担当幹事	無
13:55～	事務連絡	内閣府	無

つながりサポーター等の取組（御報告事項）

つながりサポーター

- 1 取組状況の概要（養成講座の実施状況等）
- 2 改善中の子ども向けテキスト
- 3 新しいキャラクター
- 4 今後に向けた取組の方向性

広報について

- 5 普及啓発方策（次回月間の取組、広報用動画）

1. つながりサポーターについての取組状況（概要）

○養成講座（56か所＋下記5か所）

- ・実施主体内訳：地方自治体20（33％）、社会福祉法人等21（35％）、NPO法人7（11％）、企業7（11％）、その他6（10％）

○孤独・孤立対策に関する連携促進・情報交換会議（5か所）

- ・地域における孤独・孤立対策に関する好事例やノウハウを共有することで、孤独・孤立対策の推進に向けた域内の連携促進を図る。
- ・実施主体：北海道後志振興局、山形県、播磨町・鳥取市、広島県福山市、千葉市（医療法人社団明康会）

○こども向けテキストの改善や、普及啓発に資する新キャラクターを検討

- ・学校での実際の授業を通じて、テキスト・指導用資料の改善に向け実証に取り組中。

○年度末に成果報告会を実施

2. テキスト（サンプルイメージ）



つながりサポーター養成講座

孤独をなくす “つながり”の力

●●●学校



2026年1月1日

一人でいることが悪いのではなく、
小さな悩みや困りごとを
「一人で抱えこんでしまうこと」が問題！

友達との関係



勉強



8

つながりサポーターとは？

まわりの人に関心を持ち
毎日の小さな行動でつながりづくりを
サポートする人



気にかける
あいさつをする



そばにいる
いっしょに過ごす



話を聞く
話しかける

つらくない
はん囲で
できること
から！

11

私のサポーター行動宣言！



サポーター行動の例

- 明日●●さんに「おはよう！」とあいさつをする
- 隣の子に「給食楽しみだね！」と話しかける
- いつもと違う様子の子がいたら「大丈夫かな」と気にする
- 元気がない子がいたら、趣味の話をして一緒に過ごす
- 「ありがとう」を一日一回は言う

過去のサポーター行動

2. テキスト (サンプルイメージ)

ワーク① わたしのはなしマップ

自分のつながりを整理しよう！

悩みや困りごとに応じた話し相手を整理して把握することで、問題が大きくなることを防げます！

部活の悩みは、先輩の〇〇さんに聞いてもらおう！

推し活の悩みは、友だちの△△さんに聞いてもらおう！

14

嬉しかったこと

① _____ を _____

② _____

に、はなしができる・できそう

困っていること

① _____ を _____

② _____

に、はなしができる・できそう

もやもやしていること

① _____ を _____

② _____

に、はなしができる・できそう

つらかったこと

① _____ を _____

② _____

に、はなしができる・できそう

自由記入欄

① _____

② _____

に、はなしができる・できそう

自由記入欄

① _____

② _____

に、はなしができる・できそう

わたしのはなしマップ

身のまわりには、わたしのおはなしを聞いてくれる人がいるよ
どんなおはなしをだれにできるかな？

例えば

- ・部活でうまくいったこと
- ・テストの点がよかったこと
- ・ほめられたこと
- ・推し活のできごと

例えば

- ・宿題がわからないこと
- ・忘れものをしちたこと
- ・苦手な科目があること
- ・進路が決まらないこと

例えば

- ・さっき言われた言葉がなんとなく引くこと
- ・返信が来なくて気になること
- ・特に理由はないけど、気持ちが落ちるかなこと

ワーク② わたしのおまもりマップ

自分のつながりを整理しよう！

悩みや困りごとについて、どのような人にどのようなことをしてもらえて嬉しかったかを振り返りましょう

部活の悩みを、先輩の〇〇さんに聞いてもらった！

推し活の情報を、友だちの△△さんに教えてもらった！

20

家族・親せき

① _____ に _____

② _____

してもらって元気が出た・嬉しかった

学校の人

① _____ に _____

② _____

してもらって元気が出た・嬉しかった

習いごとの人

① _____ に _____

② _____

してもらって元気が出た・嬉しかった

友達

① _____ に _____

② _____

してもらって元気が出た・嬉しかった

自由記入欄

① _____

② _____

に、はなしができる・できそう

自由記入欄

① _____

② _____

に、はなしができる・できそう

わたしのおまもりマップ

身のまわりには、わたしを助けてくれる人がいるよ
だれにどんなことをしてもらったかな？

ヒント

- ・おとうさん
- ・おかあさん
- ・おじいちゃん
- ・おばあちゃん

ヒント

- ・たんにんの先生
- ・保けんの先生
- ・カウンセラー
- ・がくどうの先生

ヒント

- ・サッカーのコーチ
- ・ピアノの先生
- ・塾の先生

(参考) 一般向けテキストの要点

- 「つながりサポーター」とは、孤独・孤立の問題について知識を身につけ、身の回りの人に関心をもち、できる範囲で困っている人をサポートする人
- つながりが薄くなっている「社会構造上」孤独・孤立状態が生まれやすくなっている現状があり、「自己責任」ではない
- 孤独・孤立の問題は「一人であること」ではなく、悩みや困りごとが生じた際にひとりで抱え込んでしまい、複雑化・深刻化すること
- つながりが薄い社会では、孤独・孤立の問題は誰にでも起こりうる
- 相談できる人が身近にいること自体が、孤独感を和らげることにつながる
- 自分が困ったときの備えとして、ふだんから「誰に相談できるか」を考えておくこと、「どのような相談窓口があるのか」を把握しておくことが重要
- 周囲の人の悩みや困りごとには、「気にかける」「相談窓口につなぐ」など、できる範囲で無理なくサポートすることが大切

3. 新しいイメージキャラクターについて

- 人と人をつなぐ社会をつくるイメージキャラクターを新たに検討中。
- 新キャラクターには、より幅広い人々の理解増進に向け、「ゆるやかなつながり」を広げる役割を期待。

ハナリモ

「誰かに相談することで気持ちが楽になる」というメッセージを体現するため、リラックスイメージのある花や森を素材にしたイメージキャラクター。



現在検討中

ヒカリノ

宇宙の彼方からきた光の妖精。
孤独・孤立を抱える人々に寄り添い、
ともに前進するイメージキャラクター。



ホシノワ

星座のように、
人と人をつなげるイメージ
キャラクター。

現在検討中

○養成講座の一層の実施

- ・ 100か所以上の実施を目指す
- ・ 子ども向け講座もできるだけの実施を目指す

○強化月間においてもオンライン講座を提供

○養成講座の有用性を示すユースケースの構築に向けた検討

- ・ 例えば、地域の関連講座とのタイアップや受講者のキャリアパスに資する情報、地域の課題解決の実践への接続を見据えるなどして、有用な情報を整理
- ・ こうした情報や上記講座の実施を踏まえ、引き続きテキストの改善を検討

○指導者用講習の実施を検討

5. 広報について

○月間での取組

今年度のシンポジウム（居場所づくり、相談支援）の成果も踏まえ、以下の観点も含めて検討中

- ✓居場所づくり（例：地域における多世代交流）
- ✓相談支援活動を通じた当事者への傾聴（例：生きづらさへの支援）
- ✓つながりづくりのための活動（食を通じたつながり）

○普及啓発の推進に向け、新たに、広報用動画を作成中

- ✓これまでなかった孤独・孤立対策の意義を正面から訴求する動画
- ✓好事例の活動紹介動画
 - ⇒若者の居場所、子育て支援、高齢者等の居場所づくりを含む地域活性化
- ✓著名人を活用した訴求力の高い動画（世代別に作成）

令和8年度の孤独・孤立対策強化月間における主な取組（検討案）

1. 実施期間

令和8年5月1日（金）～5月31日（日）

※オンライン空間、相談支援関係：5月1日（金）～5月10日（日）

2. 主な内容

広報

広報（ポスター、月間特設Webページ）

- ・孤独・孤立対策が目指す社会像について周知・啓発
- ・全国の地方自治体、社会福祉等関係団体の協力を得て、情報発信
- ・月間中に全国各地で行われる取組の紹介等を行う月間特設Webページを開設



相談窓口・イベント等

オンライン空間におけるイベント

- ・オンライン空間を活用した、孤独・孤立対策の周知啓発などを目的とした各種イベントを実施(実施団体と調整中)

○シンポジウム・対談

(テーマ例)

- 居場所づくり、当事者への傾聴（例：生きづらさへの支援活動、多世代交流）
- つながりづくりのための活動（例：コミュニティ・ダイニング）
- 地域活動（例：薬局によるコミュニティサロン）



○つながりサポーター養成講座

- ・つながりサポーター養成講座の提供



○展示

- ・地方自治体の取組紹介（普及・啓発、見守り活動）
- ・NPOの取組紹介（普及・啓発、見守り活動）



○体験イベント

- ・音楽・絵画鑑賞、観光体験（クラシックライブ、絵画を通じた交流等）

孤独・孤立相談ダイヤル#9999

- ・孤独・孤立相談ダイヤルを開設し、悩みを抱える方向けに、テーマ別に相談を受付